

A portrait of a middle-aged man with white hair and glasses, wearing a tan jacket over a blue and white checkered shirt. He is smiling slightly and looking towards the camera. The background is a plain, light-colored wall.

自分で見て、自分で考える。いつかそれができるようになると、世界は不思議に満ちた、とても面白いところに変わります。本当ですよ。

平成19年10月	特別講演会「脳から見たヒト」	平成23年6月	宿泊研修「養老先生と初夏の大山を歩こう」
平成20年7月	宿泊研修「養老先生と山へ入ろう!」	平成24年6月	アフリカツメガエル解剖実習
平成21年11月	特別講演会「昆虫と私」		特別講演会「養老先生の解剖学教室へようこそ」
平成22年6月	自然観察「養老先生と春の山を歩こう」		



スーパーサイエンスミュージアムに参加されている皆さんは、自分たちが目指す未来社会を自分たちで創りあげていくと信じています。今日の皆さんの活動は、皆さんの未来につながります。それは日本や世界の変革にもつながる可能性を秘めています。いっぱい挑戦をして、いっぱい失敗もしてください。皆さんの活躍を楽しみにしています。

平成15年8月	テレビ会議「毛利さんとのテレビ会議」
平成16年7月	テレビ会議「毛利さんとのテレビ会議」
平成17年8月	テレビ会議「毛利さんと南極とのテレビ会議」



私のワクワク・ドキドキ

講座での受講生の反応は、私にとって、いつも新鮮です。普段の授業では、なんとなく「わかったつもり」になっている科学の基礎も、小学校5・6年には通用しません。「原子とは?」「光とは?」「生物とは?」「宇宙とは?」…素朴な疑問ほど、説明が難しいことをいつも痛感します。と同時に、自分自身が分かっていない部分があることにも気づかされます。講座で受講生から「わかった!」と反応があったとき、実は私自身も、受講生から学んでいます。

自分が気づけなかったことに気づく…これが、私のワクワク・ドキドキにつながります。これからも受講生と一緒に科学が学べることを、とても楽しみにしています。



鹿江 宏明
(比治山大学 准教授)

夢中になれる体験+仲間に感謝=大切な宝物!

私は、これまでに、スーパーサイエンスミュージアムに関わったすべての人に感謝しています。なぜなら、私がこれまでに、SSMを通して知り合った仲間のおかげで、私自身が大きく成長したと考えているからです。たとえば、泥んこになるまで夢中になれた秋芳洞の洞窟探検や、首が痛くなるまで流星を探した天体観測や、汗だくになって必死に探した美祿の化石採集などの体験は、私にとって最も大切な一生の宝物です。

私達は科学を学んでいく中で、この美しい地球の自然環境は、気の遠くなるような長い長い時間に形成されたことを知り、この地球は奇跡的な絶妙なバランスの上に成り立っていることを教えてくれるのです。



池本 博司
(広島市立舟入高等学校 教諭)

SSMの歴史は私たちの歴史の一部

10年前SSMが開講された時、私は受講生の保護者でした。その後、指導講師として3期生を迎え、翌年二女が受講生となり、同じ家に講師と修了生と受講生が住んでいるという、SSMでの出来事が日常的に家族の会話の中に登場する10年間でした。

SSMを通じてたくさんのお友達ができた事、いろいろな発見や経験が出来た事、私たち家族の歴史のいろいろな場面にSSMが深く関わっています。娘たちの成長を見守ってくださる先生方にいつも感謝でした。

修了生の皆さん!是非SSMに来て下さい!ワクワク・ドキドキ満載のSSMに1、2年間だけなんて…もったいないですよ!先生方は皆さんに会えるのを楽しみにしています!



土本 民子
(元 広島県立皆実高等学校 非常勤講師)

やっぱり科学がスキ

子どものころから自然や科学が好きでした。文字が読めるようになったときから、手にするのは自然や科学の本。保育園のころに豆電球のソケットと電池ボックスが手に入ったときは、天に昇るほど喜びました。夢中になって思いつく全てのつなぎ方を試し、ショートさせると熱くなることを知りました。捨てることになった白黒テレビを分解して感電し、天に昇らなくて良かったとほっとしたときの謎は、後にコンデンサのことを知り解決しました。近所の友達の家で羨ましく見つめていた「学研の『科学』」を買えるようになったことが小学校に入学した喜びの一つでした。

SSMは、そんな「科学がスキ」という気持ちを増幅してくれる時間です。



玉井 基宏
(広島市立神崎小学校 教諭)

SSM受講生は純粋たる Ph.D. である。

学術博士を一般的にPh.D.(Doctor of Philosophyのラテン語略で、直訳は哲学の博士)と記述します。哲学は「なぜ?」や「どうして?」といった根本を追求することであり、Ph.D.はそれらを突き詰めた者の称号として得られる学位とされています。

SSMが学校での理科の授業と大きく違う点は、子どもたちに学術そのものを問うところにあります。

SSMの受講生たちには、物事を哲学的な視点から捉える大切さをいつも気付かされます。彼らはまさしく小さなPh.D.ではないでしょうか。



古林 宏之
(戸田工業株式会社 創造本部)

この10年間、主に関わっていただきました講師の先生方

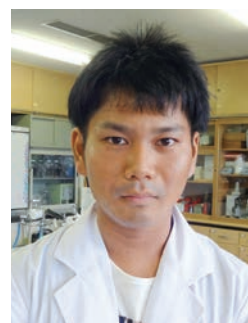
山崎 博史 先生、磯崎 哲夫 先生、鹿江 宏明 先生、土井 徹 先生、
池本 博司 先生、土本 民子 先生、玉井 基宏 先生、藤川 義範 先生、
菅野 浩司 先生、古林 宏之 先生、金個 忍 先生

深く感謝いたします。



私の進路に大きな影響を与えた、SSMの最先端の学び

SSM開講10周年おめでとうございます。私は現在広島大学で生物の勉強をしています。思えばこの分野に進むきっかけを与えてくれたのはSSMでした。もともと生物は好きでしたが、進路決定をする際に、SSMを通じてこの分野で行われている研究内容や、手法の概要を理解できていたので、主体性を持って生物の分野を選択できたと思っています。最先端の科学を、これでもかと体験できるSSMが多感な学生に与える影響は計り知れません。これからもこの事業がますます盛んに行われることを願っています。



政網 宜規
(1期生)

SSMの活動は、受講生の時はもちろん今でも私をワクワクさせてくれます！

小学6年生の朝、新聞でSSM開講の記事を見つけた時の衝撃を今でも覚えています。必死で作文を書いて応募して、16人のメンバーに選ばれた時は本当に嬉しかったです。あれから10年、SSMの先生方にはずっと成長を見守っていただき、進路などで悩んだ時など、いつも支えていただきました。また、講座をお手伝いさせていただいたおかげで、たくさんの後輩とも親しくなることができ、SSMに参加した事で他では得られない友人を持つ事ができました。SSMの活動がこれからもずっと続いていく事を願っています。



土本 美咲
(1期生)

自分たちの手で新しい生命をつくる。その感動が、遺伝子への興味につながりました。

SSMを通して、大学レベルの実験や、科学者とのディスカッションなど沢山の経験をしましたが、中でも大腸菌とオワンクラゲの遺伝子組み換えは衝撃的でした。自分たちの手で新しい生命を作るということに感動し、生命の設計図である遺伝子に興味を持ちました。この事をきっかけにSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に進学し、現在は大学で総合的な判断をもとに推論を行いながら研究をしています。いつの日か、科学の楽しさや、研究していく面白さを教えてくれたSSMに恩返しができたと思っています。



下野 起将
(2、3期生)

宇宙飛行士の毛利さんとのテレビ会議は忘れられない貴重な思い出に。

2年間のSSMの講座を通して、科学の広い分野にわたる興味がわきました。そんな講座の中でも特に印象に残っているものは、宇宙飛行士の毛利さんや、南極の昭和基地とをつないで行ったテレビ会議です。いろいろな話を聞き、自分自身もと科学を極めたいくなるきっかけとなりました。SSMでしか体験できなかった事や実験をした時のドキドキ感は今でも忘れられないものになっています。



武多 瞭
(3、4期生)

SSMでの実験を通して助け合い、絆を深め、大切な仲間に出会えました。

私たちは、SSMの4期生として出会いました。4期生の中で5年生の女子は4人だけだったのですぐに仲良くなり、SSMでいろいろな実験を通して、助け合い、協力していく中で、絆を深めることができました。SSMでの体験は本当に良い思い出です。今、私たちは高校3年生になり、通っている学校もそれぞれ違うのでなかなか会えませんが、受験が終わって大学生になったらまた4人で講座に行きたいです。これからも、ずっと大切な仲間です。こんな仲間に出会えたSSMに感謝の気持ちでいっぱいです。



井上 美琴・下野 文栄
土本 彩花・松方 未来
(4、5期生)

本物の研究者の飽くなき好奇心に感嘆！「理科を楽しむ心」を教えてくださいました。

僕がSSMで特に印象に残っているのは、やはり養老先生との三瓶での宿泊研修です。この時に本物の研究者はいつでも好奇心を持っているということを知りました。SSMで2年間お世話になったおかげで、中学2年の時にはCOP10国際子ども環境会議に広島市代表として参加することができました。また、事実を多角的に考える姿勢や身の回りのものに対する好奇心、実験レポートの書き方、そしてなにより理科を楽しむ心を教えていただいたおかげで、今でも楽しい学校生活が送れています。ありがとうございました。



吉田 真也
(5、6期生)

SSMで学んだ事をしっかり生かして自分の研究に励んでいきたい。

私はSSMを通して、プレゼンテーションや、ポスターに上手にまとめて発表する事を学びました。私は部活動で物理の研究をしています。コンテストに提出する際、レポートやポスターにまとめます。どうすればわかりやすく内容を伝える事ができるかなど、基本から応用的な技術を、SSMの中間・総合発表を通して身につける事ができました。今後もSSMで学んだ事をしっかり生かして自分の研究に励んでいきたいと思っています。



上原 透流
(6期生)

自分でテーマを選び、研究発表したことは、大きな自信につながりました。

僕がSSMで体験したことは財産になることばかりでした。以前から科学が好きだったので、専門的な実験にワクワクしました。講座ごとのレポートをまとめたものにシールを貼ってもらった時は嬉しかったのを覚えています。自分でテーマを選び、研究発表をできたことは、僕の大きな自信となりました。修了後もお手伝いとして違う形で学ばせていただき、これからも時間の許す限り、SSMに関わっていけたらと思っています。



枝長 豊大
(7、8期生)